

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 全体的に学習意欲のある生徒が多いが、受け身の生徒も一定数いる。授業規律も切り替えができるようになった。
- (2) 学習した知識や習得した技能を実生活で使う機会が少なく、イメージをもって授業を受けることが難しい生徒もいるため、理解するための写真や動画などのツールが必要である。

2 改善の計画

- (1) ワークシートを授業終了後回収し、評価を記入する。返却時にそのワークシートを使い、授業最初に補足説明をしてから次の授業につなげていく。
- (2) ICT を活用し、視覚化することで理解だけでなく、想像力を深めさせ、学習意欲を高める。
- (3) 自分の考えをまとめたりする課題を出して、取り組ませ、自立する力が身に付けられるようにする。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 資格を取得したり、作品作りを通して、やり遂げる達成感を味わわせ、自己肯定感を高められるようにする。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを実施し、変容を見る。
- (2) ワークシートや作品を含む、授業内での生徒の取り組みを観察する。